

まちづくり 市民会議 ニュース

No.6

発行日：平成27年9月14日
発行者：まちづくり市民会議事務局

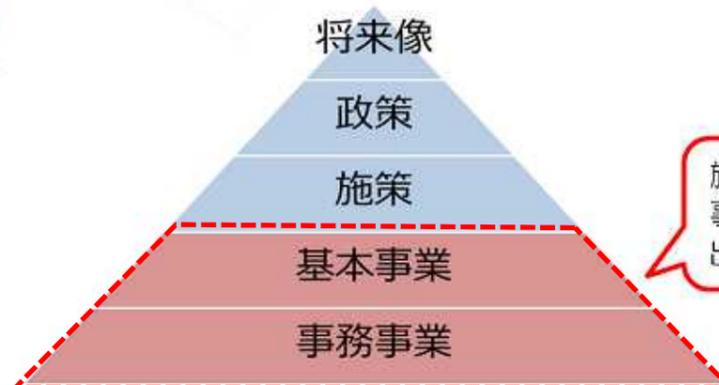
大きく育て！

事業のたね

1



課題×アイデア = 誇れるふるさと



施策ごとに
事業のたね(アイデア)を
出させていただきました。

<対象>
働きかける対象、ターゲット

<意図> 9年後に...
対象がこんな状態になって欲しい
対象をこんな状態にしたい

施策	6-1 子育て支援の充実		
対象	課題	解決策	事業のたね(アイデア)
安心して子育て	危険・遠い 学校が遠い 通学路の安全 登下校時のスクールバス	歩道の整備 スクールバス 保護者が語る場をつくる	歩道整備事業
	知識不足 子育てへの不安 産後のサポート	広報に力を入れる 発信された情報を集める	大人教育事業 ～親になるために～
安心して産む	遊び場不足 遊び場が少ない 放課後の遊び場所	空き教室の利活用	
	経済的負担 保育料 経済的負担が大きい	経済的な支援	子育て経済支援事業 (保育料助成事業) (医療費助成事業)
	コミュニケーション不足 近所付き合い 保育所不足 保育 預け先の確保 夜間受付の病院不足 小児科	近所の人の見守り 井戸端会議に参加する 小児科の夜間当番	子ども医療整備事業 (夜間病院の誘致) (市民病院の拡充)

施策	6-2 教育・保育の充実		
対象	課題	解決策	事業のたね(アイデア)
生き抜く力	コミュニケーション不足 子どものコミュニティの変化 コミュニケーション力の低下 近所との関わりが減少	たくさんのツールを与え過ぎない	子ども達の集まる場所を整備 (宿題・遊び) 利用制限なし 体験事業 (子どもだけのツアー) (親子サバイバル大冒険)
	想像力・発想力の不足 想像力・工夫の欠如 豊かな発想力がない	家庭学習の習慣化 テレビの視聴時間を制限 学校の指導力向上	人材育成事業 (コーディネーター養成)
	学力不足 子ども達のやる気がない 「生きる」・「命」について考える機会がない	親・周囲の大人たちの意識改革 親も学ぶ機会を持つ ざっくりしたイベントの開催	ビデオ授業 (命・生きるを考える)
生活習慣	過保護すぎる お迎え 親が何でも用意する 自立していない	親も学ぶ機会を持つ	親カフェ 男親だけの懇親会
	習い事が多すぎる 習い事に追われている	休日等家族で過ごす時間を増やす	
	体力面の不安 外で遊ぶ子供たちを見ない 体力(持久力)がない	外で遊ぶ楽しさを教える	

10月14日(水)
19:00～

第2次小城市総合計画に市民の皆さまの意見を反映するため、「まちづくり市民会議」を開催しています。9月9日(水)に第6回の「まちづくり市民会議」を開催し、参加者は、市民と職員あわせて37名でした。

前回の振り返りでは、小城市をどう案内するかと考えていただいた内容を地図に落とししたものを見ていただき、小城市の多くの優れた資源とその位置関係などを視覚的に捉え、イメージしていただきました。

今回は、少し具体的に事業を考えるということで、市民に関係の深い16施策のうち8施策について、第1希望と第2希望を選んでいただき、自分の興味のある施策の事業を考えていただきました。「こういう事業があったほうがいいよね。」「こうすればもっとよくなるの。」「と小城市が「みんなの誇れるふるさと」になるようにと真剣な議論が交わされました。

第7回の市民会議では、残りの8施策について考えていただく予定です。

(会議の進行：十時裕さん・辻桂子さん)



第6回 プログラム

- あいさつ
- 前回の振り返り
- グループ分け
- 事業のアイデアづくり

十時さん

施策	6-3 青少年の健全育成		
対象	子ども(小学生から18歳)	意図	地域との関わりの中で、心身ともに健やかにたくましく成長する
課題	解決策	事業のたね(アイデア)	
親子の会話不足 テレビ・ゲーム 携帯(スマホ)依存・SNS 地域のつながりの希薄化 子どもクラブの衰退 異年齢との交流機会の減 地域のつながり(リーダー不在) 地域と学校との連携 遊びの変化 子どもが外で遊ばない 遊ぶ場所がない 保護者の意識不足 多様な家庭環境 地域の大人の無関心 個人主義 プライバシーの問題 伝統行事の衰退 大人も子供も時間がない 習い事や勉強で忙しい 地域行事の参加率が低い 地域を知らない	夕食時はテレビ・携帯の電源をOFF 携帯(スマホ)を制限する会話する 地域行事に参加(半強制) 他地域との共同イベント 高齢者・障がい者と接する どんご遊び・水遊びができる場所をつくる 自由に集まれる場所の提供 親の意識改革 保護者への教育 子ども達同士、縦割り・横割りで過ごす時間をつくる 子どもの放課後時間の活用	子ども達へ情報発信事業 プレイパーク整備事業 高齢者・障がい者との交流事業 地域リーダー・コーディネーターの育成事業	



施策	9-1 情報発信の充実		
対象	市民	意図	市民が必要な情報をいつでも、どこでも入手できる市の情報発信に満足する
課題	解決策	事業のたね(アイデア)	
情報を受け取れない 外出時の情報取得方法 連絡先がわからない 知りたい情報にたどり着けない 情報のタイムラグ 市報が月1回になった 情報の更新が遅い 情報発信ツール 発信ツールが少ない 全ての人に平等に発信できない インターネット契約が必要 受け側に個人差がある 有線TV2社の情報の共有化ができていない 施設予約が活かされていない 内容が充実していない 何でもかんでも発信し過ぎ 浅い情報ばかり 情報のニーズがわからない 魅力的な情報がない センスがない 新規性 HPが見にくい 新しいことをしない	スマホを配る テレビで市の情報が見れる ホームページのリンク充実 全ての情報が手に入るアプリ リアルタイムで発信する 各団体に情報提供呼びかけ 意識の改革(双方の) 情報交流の場を増やす 小城知恵袋ページをつくる 情報ニーズ調査をする 情報のやりとりができるようにする(市 市民) 市民の情報発信の自由化 お得な情報あり(割引)	スマートホン普及事業 小城市アプリ開発事業 編集御意見番設置事業(外部意見)	
必要な情報を入力			
情報発信に満足			



施策	10-1 防災・減災体制の充実		
対象	市民	意図	災害に対する防災意識が向上する自ら災害を防ぐ行動をとれる
課題	解決策	事業のたね(アイデア)	
防災意識の向上 過去の教訓を学ぶ 危機予知の訓練 情報の共有 危険箇所の確認 危険箇所の情報提供 避難場所の確認 近所との付き合い 情報収集 情報収集能力 防災意識の高揚 危険予測 日頃の助け合い 地域住民の把握 災害時の帰路を歩いてみる 防災への行動力 地震対策 防災訓練 冷静な行動 自発的な判断	地域行事として訓練 子どもクラブと老人クラブで合同の訓練 災害の認識 防災への組織化 リーダーの育成 災害を想定した意識を持つ 地域での役割分担 地域で緊急時の備品・食糧 自主防災講習会 最大被害を想定して動く 避難する勇氣 防災計画作成	防災マップ(目的別)連絡網の作成 防災士の養成 防災体験講習会(実際体験談の学習会) 地域リーダー育成 防災への専門職の活用 人材登録制度 国立(県立)防災センター建設	
災害を防ぐ行動			



施策	7-1 農林業の振興		
対象	農業者 林業者	意図	安定した経営ができる 所有林を適切に保全、管理する
課題	解決策	事業のたね(アイデア)	
荒廃 農地の荒廃が進んでいる 外来(安い) 輸入品増加 国産品コスト高 収益ダウン 安定した収入が得られない 農機具が高い 特産品がない 地産品のブランド化不足 後継者不足 後継者がいない 荒廃 山林が手つかずになっている	貸し農地 観光体験農園 価格安定基金制度の充実 地産地消 ブランド品・ブランド米の開発 有機無農薬農産物(ブランド化) ブランドづくりの積極的支援(グループづくり) 農業機械のリース 後継者をつくる 移住支援 一口林業主づくり 林業の情報発信 国産材使用に関する支援 公共事業への活用 市内消費への支援	農業塾 貸し畑事業 価格安定基金制度 市 & JA 協働事業 道の駅整備事業 小城産消費推進助成事業 特産品開発事業 特産品研究開発補助事業 グループ化支援事業 農業機械リース事業 新規就農者所得補償事業	
安定した経営			
所有林の保全・管理			

施策	9-2 観光の振興		
対象	佐賀県を訪れる観光客 佐賀県民	意図	小城市に観光で訪れる
課題	解決策	事業のたね(アイデア)	
PR不足 知名度不足 PR不足 発信力がない 魅力を見つける 魅力がない? 米のブランド化 市民の認識が乏しい テーマがない 交通網 交通手段がない 南北が分断 拠点 拠点が無い 商工会の拡大 観光資源の集中化 羊羹村 1年を通して楽しめる観光スポットが少ない 若者が買いたいお土産	情報媒体の積極的な活用 イベント(観光地・商店街) おしゃれでわかりやすいHP 実行力 行政頼りはダメ 個人主義から全体主義へ(団結) 羊羹、お土産、観光情報が集まっている施設(場所) 交流プラザの利活用 本当に行ってみようと思うまちづくり(桜街道をつくる)	PR動画の作成・配信事業 PRしてくれる人を雇う PRしてくれる人への支援 物産館(拠点)整備事業	

施策	10-2 防犯体制の充実		
対象	市民	意図	犯罪にあわない
課題	解決策	事業のたね(アイデア)	
地域のつながりの希薄化 地元単位で防犯体制の確立 高齢者の行方不明 老人家庭への声掛け 予防防犯強化の充実 子どもの安全・安心 SNS・ネットの普及 子どもの帰りが遅い 送迎バス 不審者 空き家 空き家が多い 防犯灯 防犯灯が少ない	バトロールを強化する 子どもから老人まで参加できる地域行事を行う 総会・集会参加者への報酬 参加人数に対するの補助金 空き家を除去する 空き家の活用(活用できないものは壊す) 空き家で定住促進(格安提供) 超発光LEDの開発 防犯灯の確認・充実	新しい電話変更への補助 地域の防犯体制の勉強会 地域のつながりUP事業 地域活性促進補助事業 子どもの安全・安心啓発事業 空き家除去補助事業 危険空き家撤去事業 空き家利活用補助事業 空き家定住促進補助事業 空き家情報提供事業 LED防犯灯設置補助事業	